

駒ヶ根工業高校（駒ヶ根市）電気科3年生28人が、住宅や店舗の配線工事に必要な国家資格「第二種電気工事士」の試験に挑み、クラス全員が合格を果たした。同校2年ぶり2回目の快挙で、生徒らは周囲の支えにも感謝しながら「みんなで励まし合った成果」と喜んでいる。

一般も含めて合格率41.6割の同資格。生徒たちは年に2回行われる試験に2年生の時から挑み、7月下旬の試験までに全員が突破した。

学科試験対策として2カ月間毎朝45分、技能試験に向けては1カ月間毎日放課後2時間の補修をこなしてきた28人。今年も県

試験 第二種電気工事士 駒工電気科3年 全員合格

2年ぶり2回目快挙「励まし合った成果」



電気工事業工業組合上伊那区会の協力も得ながら技術の研さんを積み、努力の成果を試験で遺憾なく発揮した。

仲間と共に切磋琢磨した城倉伸紀さん（18）は「みんなと同じ土俵に立つことができてうれしい。あきらめずに乗り越えてチャレンジする大切さを学ぶことができた」と笑顔。同科の伊藤弘幸教諭は「部活動や自分たちの都合に折り合いを付けないで、みんな補修も休まず真面目に取り組んだ」と、生徒たちの頑張りに目を細めた。（勝利誠之）

国家資格クラス全員合格で喜びを分かち合う駒ヶ根工業電気科3年生